

『避難所の立上げ』の道しるべになりますように！



まずは、備蓄倉庫前へ！

集まった人の中からリーダーを

役割分担をして、倉庫を開ける

避難所開設キットの活用！！

避難訓練を重ねて、足跡を残そう！！

誰かがリーダーを引き受けられるようにしておこう！

家具の固定は、大事です！

近年の地震による負傷者の30～50%は、家具類の転倒・落下・移動が原因です。

なるべく部屋に物を置かない クローゼットに収納する
納戸やクローゼット、据え付け収納家具に収納するなど、できるだけ生活空間に家具類を多く置かないようにします。緊急地震速報を聞いたとき、すぐに物を置いていない空間に避難すれば安全です。

避難経路確保のレイアウト 玄関にものを置かない

ドアや避難経路をふさがないように、家具配置のレイアウトを工夫しましょう。部屋の出入口や廊下には家具類を置かないように、据え付けの戸棚に収納します。さらに、引き出しの飛び出しに注意し、置く方向を考えます。

火災などの二次災害を防ぐ

家具類がストーブに転倒・落下・移動すると、火災などの二次災害を引き起こす危険があります。また、発火のおそれがある家具・家電も転倒・落下・移動防止対策が必須です。

新宿区 『家具転倒防止器具』取付け事業

区が委託する業者がご自宅に伺って設置場所に適した家具転倒防止器具について調査のうえ、取付けを行います。 ※申請書は、四谷特別出張所で配布しています。

災害時どうしたらいいの？

四谷ひろば 避難所

●四谷ひろばは、こんなところ

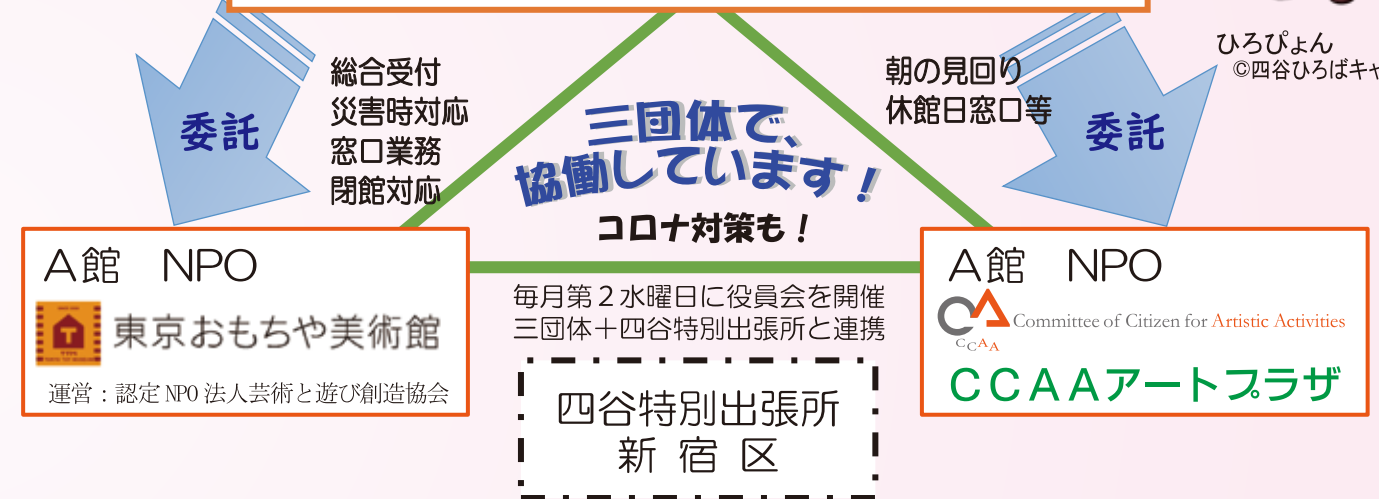
B館 四谷ひろば (地域ひろば)

子どもから大人までみんなが集えるひろばを目指しています。
地域で考え、地域でつくる 地域協働モデル事業としてスタート！

地域住民中心のボランティアなどにより、自主管理自主運営される「地域ひろば」では、「避難所機能」「選挙会場」「地域の各種イベント会場」としての役割を持ち、「主催事業」「サロン事業」「施設開放」事業を行っています。施設の管理や清掃等、日々の維持も住民の方と利用団体（優先団体）の協力を得て、成り立っています。



ひろびよん
©四谷ひろばキャラクター



○大規模施設としての責任の取組み

「防火管理者」の配置と大規模用消防計画の策定
ゴミの再利用計画と年間の排出量と最終処分場の報告 ほか

○新宿区と協定等を締結しています。

五年ごとに更新をして、今年の再更新で、2028年3月末までの契約を結ぶことができました。

『四谷ひろば避難所運営管理協議会』は

旧四谷第四小学校 避難所地域町会 四谷三丁目・四谷四丁目・荒木町・舟町・愛住町・片町 の6町会で運営がなされています。

『四谷ひろば三団体自衛消防隊』と地域との連携

四谷ひろばでは、地域ひろば・東京おもちゃ美術館・CCAA アートプラザ三団体で、自衛消防隊を結成しています。毎年、6月第四金曜日、12月第一月曜日に避難訓練を実施しています。

この訓練では、おもちゃ美術館の職員が中心となり、災害発生時に、館内のご利用者の避難誘導・消火活動・けが人対応などを中心として行っています。団体ごとに、甲種防火管理者・防災管理者の資格を得ての消防計画も提出しています。